

ニュースリリース 一般社団法人 日本出版取次協会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32 info@torikyo.jp

2020年6月22日

関係者各位

一般社団法人 日本出版取次協会

一般社団法人日本出版取次協会 第68回定時総会を開催

一般社団法人日本出版取次協会は、6月18日に出版クラブ会議室において第68回定時総会を開催し、平成31年度・令和元年度事業報告、収支決算が承認された。引き続き任期満了に伴う役員改選を行い、下記の方々が就任した。

その後、平林新会長より就任にあたり、「出版業界は非常に厳しい環境が続いているが、近藤会長が解決への道を切り開いて頂いた。これまでの方針を継承していきたい。今年度の事業計画においても現状の様々な制約を見直す事を柱に流通改革の推進を行う。特に休配日の拡大として、早期に週休2日を目指す。雑誌の搬入業量平準化をさらに推進する。」と挨拶があった。令和2年度事業計画における推進テーマ要旨は次ページ参照。

最後に、近藤前会長より「理事、会員社の協力を得て2年の任期を務め上げることができた。出版業界は非常に厳しい状況で厳しさは増すばかりだが、その中で取次協会が果たす役割は大きいので、課題解決のため引き続き平林新会長のもと協力していきたい。」との挨拶があり、定時総会を終了した。

一般社団法人 日本出版取次協会役員

会 長	平 林	彰	(日本出版販売)
常務理事	近 藤	敏 貴	(ト ー ハ ン)
〃	服 部	達 也	(楽天ブックスネットワーク)
〃	森 岡	憲 司	(中 央 社)
〃	渡 部	正 嗣	(日 教 販)
〃	貝 沼	保 則	(協和出版販売)
理 事	奥 村	景 二	(日本出版販売) 新任
〃	田 仲	幹 弘	(ト ー ハ ン)
〃	安 西	浩 和	(日本出版販売) 新任
監 事	岩 田	浩	(共栄図書)
〃	山 本	和 夫	(公認会計士)

本件に関するお問い合わせ先

日本出版取次協会 事務局 TEL03-3291-6763

取次協会 2020 年度推進・重点テーマ(要旨)

1.出版流通改革の推進

出版業界全体の流通効率化の視点から、下記のテーマを掲げ、その中で現状の様々な制約を見直すことを柱に、流通改革の推進を継続して行う。

◇テーマ

(1)休配日の拡大

出版物業量減少、運送会社を取り巻く環境問題を念頭に週休 2 日の早期実現を目指す。

(2)搬入業量改善の検討

(雑誌)

①業量平準化の推進

今後の休配日増加に備えるとともに、搬入点数と冊数を総合してピーク時の分散化を図っていく。

(書籍)

②書籍業量分散化の推進

②-1 下旬搬入点数・冊数から分散化推進

②-2 取次別「搬入連絡表」フォーマットの共通化

②-3 搬入日の事前申告制度が浸透したことによる仕入受付全体スケジュールの前倒し化

(3)輸配送面の検討

①最適な配送条件の確立

②配送効率化の改善の研究

(4)BCP(事業継続計画)

新型コロナウイルス感染症や、近年度重なる自然災害(台風、豪雨など)に備え、緊急時の対応を検討する。

①予測ができる大規模災害対応

台風、豪雨など予報がでていいる大規模自然災害、今回のコロナ感染症など、従業員に広まる恐れがあり、流通センター他、物流が滞る可能性が予測される災害の発生時における緊急の対応を図る。

②予測ができない大規模災害対応

東日本大震災後に作成した危機管理マニュアルのブラッシュアップを行う。

2.JPO 出版情報登録センター 近刊情報登録及び内容登録の充実促進

未加盟社への登録促進を継続し、業量平準化項目、書影などの質の向上を強化していく。

3.再販制度

弾力運用(時限再販・部分再販)の拡大、実績向上。

時限再販については、各取次において継続して実施できるよう支援していく。

以上